

## 志賀原子力発電所 1号機 復水器の点検・補修について

平成16年6月25日  
北陸電力株式会社

志賀1号機は、定格熱出力一定運転中のところ、平成16年6月4日午前8時頃より復水器出口導電率<sup>1</sup>がわずかに上昇していることを確認しました。これは、復水器内の細管の内部を流れる海水が復水器内へわずかに混入しているものと推定されます。監視を強化し運転することとしました。(6月4日お知らせ済み)

その後、復水器出口導電率はほとんど変化していませんでしたが、6月22日午後10時頃に再びわずかに上昇したことから海水の復水器への混入量が以前よりも増加していると判断しました。

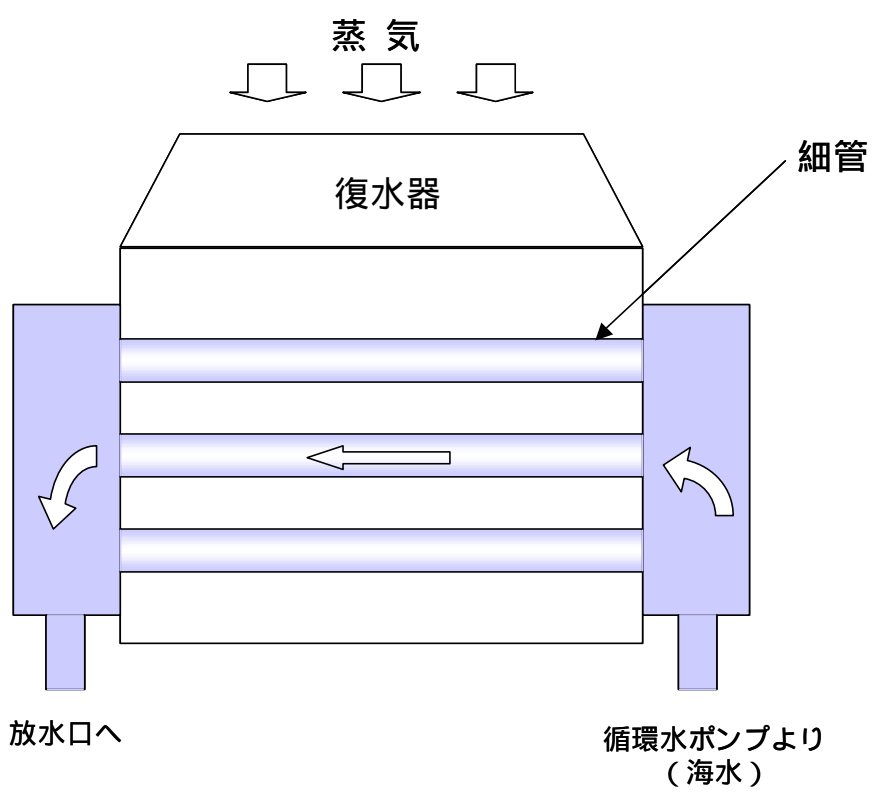
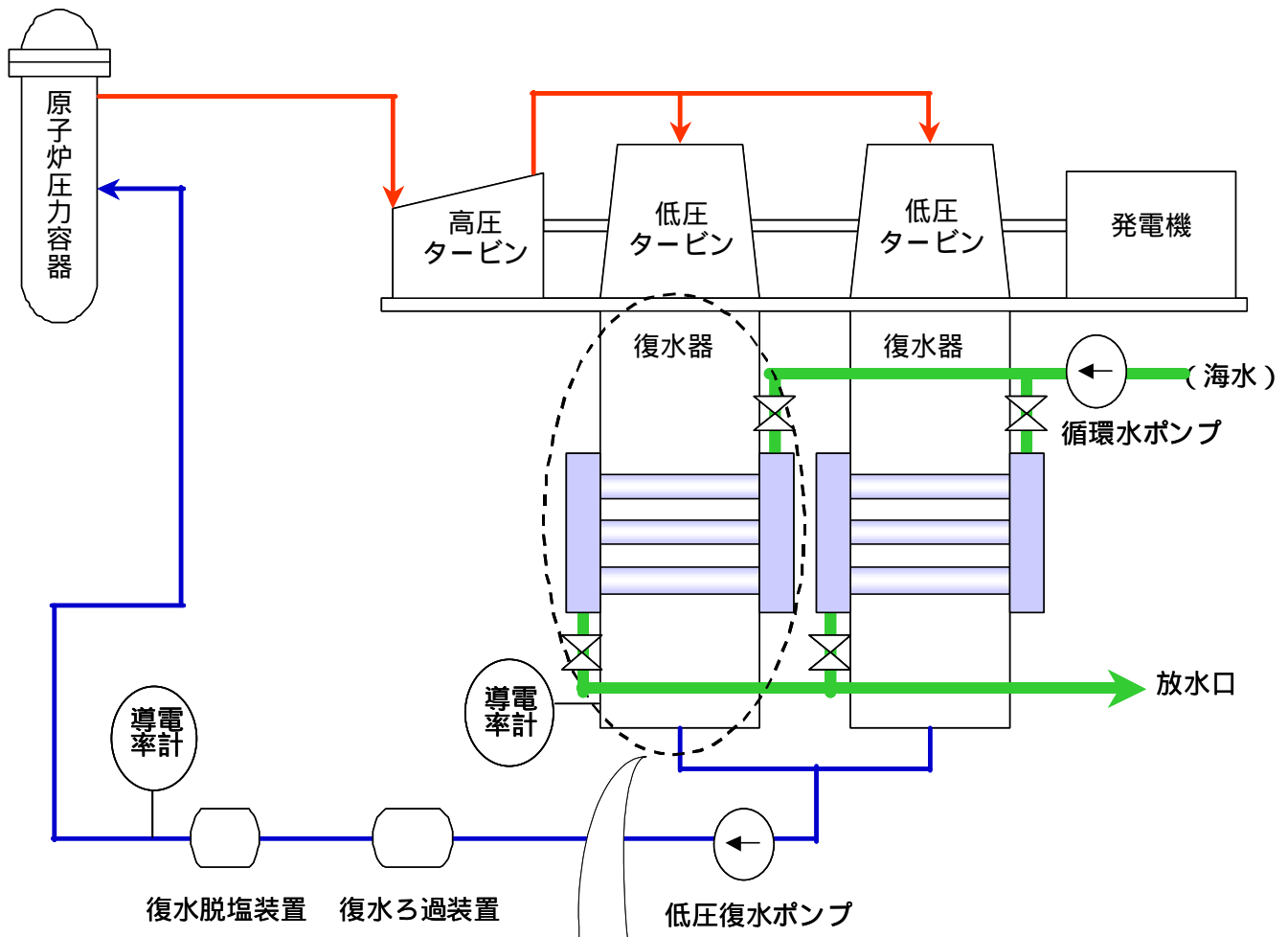
現在の海水混入量は、復水脱塩装置<sup>2</sup>で十分除去できるものであり、原子炉への影響はなく、また、外部への放射能の影響もありませんが、予防保全の観点から、6月25日午後6時から電気出力を約13万5千キロワットまで降下させ、復水器の点検補修作業を行うこととしました。

点検・補修作業は3～5日間程度を見込んでおり、作業終了後、出力を上昇し定格熱出力一定運転に復帰する予定です。

本件については、石川県、志賀町及び富来町と締結している「志賀原子力発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書」に基づき連絡しています。

以上

- 1 導電率：水に含まれる不純物の量を電氣的に測定した値で、単位は $\mu\text{S}/\text{cm}$  (マイクロジーメンス毎センチメートル)
- 2 復水脱塩装置：原子炉給水中の不純物を除去する他、万一、復水器内に海水が漏れいした場合、復水中の塩分を除去する装置



復水器系統概略図